

9月定例議会に提出された請願・陳情

《請願》

受理番号	件名	結果
請願第26-3号	年金の削減中止と年金制度をまもる請願 (H26.3.3 文教厚生委員会付託)	不採択
請願第26-5号	教育予算の拡充を求める請願 (H26.9.1 文教厚生委員会付託)	採択
請願第26-6号	「集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書」の採択を求める請願 (H26.9.1 総務委員会付託)	不採択

《陳情》

受理番号	件名	結果
陳情第26-6号	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	議席配付

討

論

年金の削減中止と年金制度をまもる請願

●請願内容：増税等により高齢者の生活が厳しさを増す中、年金削減や年金支給年齢の引き上げに反対する請願

請願に賛成

日本共産党 大名美恵子議員

年金削減が村民を苦しめていることや年金制度は本来の姿で守ることが重要であると議員はみな承知している。年金引き下げどころか引き上げこそ今必要である。社会保障の国民の権利と国の義務が遵守されるべきである。

「集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書」の採択を求める請願

●請願内容：十分な国会審議や広範な国民の議論のないまま、集団的自衛権行使を容認した閣議決定の撤回を求める請願

請願に賛成

日本共産党 川崎 篤子議員

国民合意形成のない閣議決定は、「海外での武力行使は許されない」憲法9条の「解釈変更」であり、「海外で戦争する国」に乗り出す集団的自衛権の行使容認。撤回は当然。憲法9条もつ日本こそ平和外交に頑張るべき。

請願に反対

公明党 岡崎 悟議員

7・1閣議決定の正式名は「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」である。専守防衛堅持と平和主義を貫いている。「集団的自衛権行使の閣議」とは、新聞が付けたイメージである。

請願に賛成

豊創会 豊島 寛一議員

ねじ曲げられた憲法解釈。専守防衛から大きく転換され危険をはらむ。国民的合意があった訳ではない。ごく限られた人達によって一方的な言葉の読み替えと言ひ替えと強弁により、憲法96条を無視し姑息。身内で決めた暴挙。

